

第 32 回山形県作業療法学会開催要項

【趣意】

最北支部で前回担当開催した第 27 回山形県作業療法学会は、「活動と参加を支える作業療法士～今地域ですべきこと～」をテーマに令和 2 年 5 月に対面開催する予定でしたが、平成 30 年末からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、誌上開催という形となり、会員の皆様をはじめ行政や多職種の講師の方々とお会いして、直接取り組みと展望を共有することが叶いませんでした。

その後のコロナ禍では、感染防止対策による様々な制約、事業や支援活動の休止などが起こる中、作業療法の現場でも取り組み方法の試行錯誤が重ねられ、コロナ前には得られなかった環境が創出されるほど、可能な限りの努力と支援が継続されてきたと感じていました。

しかし、「そんなに頑張っているけど、成果は出ているのか？」と聞かれると即応できず、県内の会員の活動状況と成果の集約、会員及びその所属先の医療・福祉関連事業所への周知と共有が足りない現状に気が付きました。

地域支援事業への派遣対応においては、本務外であることが多く、職場には活動内容までは伝わりません。派遣者個人の負担を軽減し、支援を継続していくためには、士会による研修会開催や資料提供などの支援だけでは難しく、勤務内での派遣体制の検討など、所属事業所の理解と協力を得ていく必要があります。そのためには、作業療法士の取り組みによる成果を広く関係機関に提示していく必要があると考えます。

また、医療保険、介護保険とも、近年の報酬改定における新制度の導入で、レセプトデータの活用により職種ごとのリハビリテーションの効果把握が可能となった結果、作業療法の請求において、利用者の状態や作業療法の目的などの詳細な記載を求められるといったケースが報告されています。関連する医療機関では、多くが勤務時間外での対応となり負担が大きい状況でしたが、ここでも作業療法の内容や成果について、改めて提示することが必要な状況があると考えます。

作業療法は元来、昨今注目されている活動と参加を、目的としても手段としても活用し、小児から高齢者まで、発達、精神、身障、地域などあらゆる分野で、急性期から回復期、生活期、終末期、そして平時でも有事でも、生活を支える働き掛けを行っています。コロナ後、多くの制約が解除され、休止していた支援体制が回復し、対象者と様々な場面で新しい活動を獲得していく過程を共有する作業療法の楽しみを、ようやく当たり前に実感できるようになりました。そこで、前回担当学会のリベンジの意味合いも込めて、第 32 回山形県作業療法学会では、まずはそれら日々の取り組みやこれまでの成果を会員同士が持ち寄り、確かめ合い、今後の展望を共有する機会にしたいと考えます。そして、会員一人一人が職場や地域で、また士会では関連団体や行政に発信し、対象者、多職種・多分野と協働して、楽しみを共有しながら対象者の主体的な生活を支えていく、生活に役立つ作業療法のこれからの実践につなぎたいと考えます。

- 【開催日時】 令和8年10月4日(日) 9:00~17:30
- 【会場】 東根市総合保健福祉施設 さくらんぼタントクルセンター
- 【学会テーマ】 「活動と参加と共に楽しむ作業療法～あれから6年！山形OTの大実績報告会！～」
- 【参加規模】 山形県作業療法士会会員及び一般含め300名

【日程】

- 9:00～ 受付開始
- 9:30～ 開会式
- 10:00～ 一般公開講座・公開シンポジウム
機器展示、ランチミーティング
- 13:00～ 一般演題、ポスター発表、高校生ミニレクチャー
- 16:00～ シンポジウム②
- 17:10～ 閉会式

【内容】

1) 演題発表(口述・ポスター) 35 演題

2) 一般公開講座及び公開シンポジウム 10時00分～11時50分

共通テーマ: 「つながりから生まれる相互作用」

一般公開講座(基調講演): 大向 優貴氏(作業療法士・元パラアスリート)

テーマ: 「受傷直後には想像できなかった人生ー参加が広げる人生の選択肢ー」

公開シンポジウム①

テーマ: 「活動と参加の機会を創る支援、楽しさと共に」

シンポジスト: 岡崎 建哉氏(モンテディオ山形 クラブリエゾン)

今田 智紀氏(大蔵村役場健康福祉課 福祉主査兼係長)

田中 忍氏(公徳会 若宮病院 作業療法士)

3) シンポジウム② 16時00分～17時00分

テーマ: 「知ってるつもり?! 相互理解から拓く山形のリハビリテーションと作業療法のこれから」

シンポジスト: 羽角 勇紀氏(県立河北病院 地域医療連携室医長 総合診療専門医)

寒河江 拓盛氏(北村山公立病院 リハビリテーション科医長)

清野 敏秀氏(朝日町立病院 作業療法士)

④ 機器展示 : 賛助会員企業からの出展予定

⑤ 高校生ミニレクチャー(士会事業同時開催)

・ 作業療法クイズ

・ 県内養成校紹介(2校)

・ 学生との交流、作業療法体験

・ 学校、就職、仕事等に関する質問コーナー

6) 参加費

会員(令和8年度県士会会費納付者)：3,000 円

※新規入会会員(新卒者)・演題登録時1～3年目の発表者：1,500 円

40周年記念事業早期割引：2,500 円

会員(令和8年度県士会会費未納者)：6,000 円

準会員・養成校の学生：無料

非会員(他職種、他県士会員)：4,500 円

県士会非会員・他県士会非会員：参加不可

7)参加登録：参加方法は詳細が決定次第、第32回山形県作業療法学会 HP 上に掲載いたします。

【体制】

学会長：三原 裕子

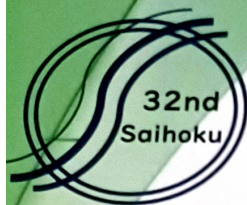
実行委員長：高山 悠二

事務局長：伊藤 美佳

他常任実行委員：10 名

【問い合わせ先】

第32回山形県作業療法学会 事務局長 伊藤 美佳
〒999-3712 山形県東根市大森2-3-6 山形ロイヤル病院
TEL 0237-43-8080 FAX 0237-48-8534
E-mail: yamagata-riha01@ims.gr.jp



第32回山形県作業療法学会

「活動と参加と共に楽しむ作業療法

～あれから6年！山形OTの大実績報告会！～

会期

令和8年 10月4日(日) 9:00～17:30

会場

東根市 さくらんぼタントクルセンター

一般公開講座

「つながりから生まれる相互作用」



元水泳パラアスリート

株式会社ライフステップサービス プロダクトアドバイザー

作業療法士 大向優貴氏

「受傷直後には想像できなかった人生」

～参加が広げる人生の選択肢～

公開シンポジウム

「活動と参加の機会を創る支援、楽しさと共に」

- ・大向優貴氏 (元水泳パラアスリート 株式会社ライフステップサービス プロダクトアドバイザー 作業療法士)
- ・岡崎建哉氏 (モンテディオ山形 クラブリエゾン)
- ・今田智紀氏 (大蔵村役場健康福祉課 福祉主査兼福祉係長)
- ・田中忍氏 (公徳会 若宮病院 作業療法士)



モンテディオ山形
クラブリエゾン

岡崎建哉氏

シンポジウム2

「知ってるつもり?!相互理解から拓く山形のリハビリテーションと作業療法のこれから」

- ・羽角勇紀氏 (県立河北病院 地域医療連携室医長 総合診療専門医)
- ・寒河江拓盛氏 (北村山公立病院 リハビリテーション科医長)
- ・清野敏秀氏 (朝日町立病院 作業療法士)

第32回学会 Instagram:



第32回学会 HP:



団体: 山形県 村山市 東根市 尾花沢市 新庄市 大石町 舟形町 最上町 金山町 大蔵村 戸沢村 鮭川村 一般社団法人山形県医師会 一般社団法人山形県歯科医師会
社団法人山形県薬剤師会 公益社団法人山形県看護協会 公益社団法人山形県栄養士会 一般社団法人山形県歯科技術士会 一般社団法人山形県理学療法士会 一般社団法人山形県言語聴覚士会
社団法人山形県臨床工学会 一般社団法人山形県介護支援専門員協会 一般社団法人山形県介護福祉士会 一般社団法人山形県社会福祉士会 山形県医療ソーシャルワーカー協会
県精神保健福祉士協会 社会福祉法人山形県社会福祉協議会 社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会 一般社団法人山形県老人福祉施設協議会 一般社団法人山形県地域包括支援センター等協議会
リハビリテーション研究会 公益社団法人認知症の人と家族の会山形県支部 公立大学法人山形県立保健医療大学 学校法人諏訪学園山形医療技術専門学校

催

一般社団法人山形県作業療法士会



問い合わせ先 第32回山形県作業療法学会事務局 伊藤美佳
山形ロイヤル病院 〒999-3712 山形県東根市大森 2-3-6
E-mail: yamagata-riha01@ims.gr.jp TEL0237-43-8080